



誰にでも起こり得る病気です

認知症かも？ と思ったら・・・

■問い合わせ 介護保険課Tel 23-3226

■周りの人の気付きが大切です

認知症は誰にでもおこる可能性がある病気で、平成37年（2025年）には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。正しく理解し、早期発見することで、適切な治療や社会的支援を受けることができます。

認知症は、加齢によるものとして見過ごされがちです。早期発見には家族の人や身近な人の「気付き」がとても重要です。

このような様子はありませんか？

- ・何度も同じことを言ったり、聞いたりする。
 - ・大切なものがなくなったという訴えが多くなる。
 - ・家事がうまくできなくなる。
 - ・約束が思い出せなくなる。
 - ・ふさぎこむことが増える。
 - ・不安感が強くなり、怒りやすくなる。落ち着きがなくなる。
- など

■認知症かもしれない・・・ でもどうしたらいいの？

市では、安来市地域包括支援センターに認知症相談窓口を設置し、家族、民生委員・児童委員、近所の人など、さまざまな方面からの相談を受け付けています。

また、相談を受けると、介護予防事業や医療・介護保険サービス提供事業所などへつなげ、早期発見、早期治療への橋渡しを行っています。

お気軽にご相談ください

- 安来市地域包括支援センター（総合相談）
☎32-9110
- 安来市地域包括支援センターはくた（認知症相談窓口）☎37-1540
- 介護保険課
☎23-3226



◀認知症サポーター養成講座の様子。

■認知症の人やその家族へのサポート

理解を深めるための講演会や認知症の人や家族を見守る認知症サポーター養成などを進めています。

●認知症講演会（入場無料、要申込）

～若年性認知症の理解とともに、私達にできること～

日時 平成31年2月27日（水）13時30分～16時

場所 総合文化ホール「アルテピア」（小ホール）

内容 ▼報告「若年性認知症実態調査結果」 ▼トークセッション「笑顔が一番！みんなに理解して欲しいこと」

当事者：山田真由美さん（おれんじドアも～やっこなごや代表）

支援者：鬼頭史樹さん（名古屋市認知症相談支援センター・若年性認知症相談支援担当専門職員）

●認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守るサポーターを養成しています。おおむね5人以上の団体に対して講師を市から派遣します。講座は60分～90分程度で講師料やテキスト代は無料です。

●認知症家族のつどい

参加者同士で介護の相談や情報交換などを行います。

日時 毎月第3月曜日 10時～12時

場所 安来中央交流センター

※介護保険課、安来市地域包括支援センターはくたままでお申し込みください。

